

環境マネジメント実習 感想集

平成18年1月30日
神戸山手大学 小野木正人

1. 講義内容全般に関して

〈良い点〉

- 講義を受ける（聞く）というより、実践感覚で積極的に授業を受けることができ、大変分りやすかった。(4)
- 1つ1つ順を追って授業を進めてくれたことが良かった。
- 教科書だけでは難しく理解できないことでも、講義を受ければ理解することができた。
- 環境 ISO という仕事内容について知ることができ、納得のできる授業だった。
- パワーポイントの説明が分かりやすかった。
- 環境マネジメントの勉強だけでなく、スピーチやディベートの勉強にもなって、とてもよかった。
- 自分達で環境問題を提示し、それに対しての解決法を探していくというやり方は非常に良かった。
- フィールドワークを取り入れることによって考えるきっかけが与えられてよかった。
- 限られた時間内であり、難しいと思うこともあったが、その分やりがいを感じた。(2)
- プリントにも書いていない情報も聞けてよかった。

〈改善点〉

- 環境問題の現実話をもっと聞きたかった
- 最初の環境ツアーのように、何回かフィールドワークがあればよかった。
- 後半の講義、監査については専門的な内容で難しく、正直あまり理解できないままに進んでいった。
- 監査の流れは分かったが、資料の書き込み方が見本を見ても難しく分らなかった。
- 仕方ないことだがテンポが速かったので理解するのが大変だった。改善と言ってもこれは講師どうこうではなく、内容が多いため通年にしてほうが良い。

2. 配布資料や投影資料などに関して

〈良い点〉

- 字が大きくて、表もグラフも見やすい。
- 写真の資料は、言葉だけでは伝わらない現実味があった。
- パワーポイントを使用した資料は簡潔であり、要点がはっきりしていて分かりやすかった。(3)
- ノートを取らずに授業だけに集中できるのでよい。
- 自分達でワークシートを作ることにより書き方が勉強できてよい。
- 今日の予定や来週の予定などの資料があるのでとても助かった。
- 配布資料に全ての手順が書いていなかったのも、その分真剣に授業を聞き、メモを取ったりすることができた。

〈改善点〉

- パワーポイントの資料が小さい
- 資料の量が多かった(2)
- 資料の何枚かは片面コピーだったので、すべて両面コピーにすると用紙の節約にもなると思う

3. 講義の時間管理に関して

〈良い点〉

- だいたい先生は授業のぎりぎりや少し遅れてくることが多いが、小野木先生は10分前に来ていたのでプロ意識を感じた。自分達のルーズさを反省し、見習おうと思う。(6)
- 授業ははじめから終わりまできちんと講義してくれた。(3)

〈改善点〉

- 遅刻する人はほっといて進めたほうが良い
- ワークシートを書く時間がもう少しあったら、きちんとその日に提出する課題ができた気がする。
- 講義内容が聞いておかなければ困る内容ばかりなので仕方ないが、授業アンケートの時間も確保してほしい。
- 発表や話し合いをする講義内容のときは、授業アンケートの書き込み量を軽減してほしい。

4. 話し方や話すスピードに関して

〈良い点〉

- 難しい単語は繰り返してくれたので、大変良かった。
- たまに話しを聞いていないとき「君たち分かるのか」など何度も注意してくれ、また、質問を受け付けてくれたので理解することができた。(2)
- 声も後ろまでよく聞こえていたので聞き取りやすくてちょうど良い

〈改善点〉

- たまに聞こえづらい時があった。(2)

5. 講義内ワークや提出課題に関して

〈良い点〉

- 提出課題は、内容は難しかったが、常にプリント1～2枚だったので適切だったと思う。課題がないと、一週間マネジメント論に関して抜けてしまうので、このように、課題は毎回出したほうがいい。(3)
- 後半の監査についての提出課題は多かったと思うが、内容上それは仕方のない。監査ではそれだけの資料が必要(本来ならもっとたくさんあるもの)なので特に問題はない。
- 説明をちゃんと聞いていれば、提出できる課題ばかりだった。

〈改善点〉

- グループ課題は、宿題としてやってくるのは難しいので、できるだけ授業中に時間をとり、ひとりでできる課題は宿題にするという形がいい。
- 課題の枚数を言ってほしかった
- 作成書類があった方がよくわかるが、これ以上多すぎると逆にわからなくなるといった。
- 課題の質問の時間を多くとってほしい。
- 毎回のアンケートや感想は多すぎる。
- 確かに授業が少なく時間が限られていたので仕方がないが、もっとやりたい、もっとできたと思うので課題を増やしても良い。

6. 担当講師が、もし別の専門科目を担当すれば受講しようと思いませんか？

〈良い点〉

- バーチャルウォーターやペットボトルのリサイクルは逆にお金がかかって、あまりリサイクルをする意味がない、というような生活に密着した講義なら、理解がしやすいし、興味が持てるので受けたい。
- 小野木先生は授業の事だけではなく、私たちの未熟さも教えてくれた。そのおかげで自分の得る事も多かった。また小野木先生のような先生が山手大学にはあまりいないのもっと増やしてほしい。(2)
- 今まで受けた環境関係の授業と違い、環境だけではなく、仕事と環境を結び付け、実践的に学ぶことができた。
- 時々就職の話や豆知識のような話もあったので積極的に受講したい。(2)
- 先生の授業は中身も濃く、やりがいを感じたので他にもあれば是非受講したい。

〈改善点〉

- 内容に興味があるものだったら、ぜひ受講したい。(3)
- 受講はしたいと思うが、就活のため毎回の受講が難しそう

7. 講師として

〈良い点〉

- 講義がリアルで、聞いていて面白い。
- 時間などをきっちり守り、厳しく、けれどとてもわかりやすく授業でためになった。(3)
- 配布されるプリントが書き込みやすく、講義を受けやすい。
- 毎回アンケートを取ったりして、他の先生とは違い、自己中心的な授業じゃなかった。
- 堅い感じでもなく、ユーモアがあるので生徒側は授業を受けやすい。(2)

〈改善点〉

- 監査部分についてはもう少し授業時間を取った方が良かった。
- 生徒に対して少し厳しすぎる(2)

8. 上記以外で、是非改善した方が良くと思うこと

〈授業内容について〉

- 提出課題を増やし、パソコンをもっと使ってほしい。
- この授業を通年や集中講義にして時間を増やしてほしい
- 山手大学以外にも環境調査をしたい
- もっとスピーチやディベートの時間を増やしてほしい。
- ドイツの環境教育の話や、バーチャルウォーターについての話を今後してほしい。
- ワークシートの書き方を詳しく教えてほしい

〈プリントについて〉

- プrintの量が多く、管理が大変。(2)
- プrintは両面コピーにした方がいい。
- 次回予習のお知らせは、講義中に述べてもらえればメモができるのでPrintにしなくてもいい。
- Printが何枚あるのかという質問に対しては、きっちりと答えてあげるべき。

〈アンケートについて〉

- 講義の時間が少し長くなってしまった時は、アンケート内容を減らす又は、特に言いたいことがある人を書いてもらうようにすればいい。
- 毎回授業の最後に提出するアンケートだが、提出する回数が多いので月1回程度でいいと思う。それか、初期、基本、監査とテーマが分かれているのでテーマごとのアンケートをとるなどしたら先生もどの生徒がどの段階理解しているのか見やすいと思う。
- このアンケートは手書き様に製作されたためパソコンでは大変答えづらい。コメントをするのはしやすいのですが、選択肢をどう選択すればいいかが操作しづらい。ラジオボタンを使ってアンケートを作成すれば回答する人が答えやすいのではないかと思う。

〈遅刻者や欠席者への対応について〉

- 遅刻者が多かった時の対応。例え生徒側が全面的に悪いとしても、私達のことを考えて注意したとしても嫌な気分になった。同じ注意のされ方なら、静かに諭すような注意の方が、こちら素直に悪かったと思える。
- 遅刻者が多かった時に、30分前ぐらいに自習だと言って帰られたのは、まずかったと思う。
- 欠席などの理由でついていけなくなった時、先週の授業の復習などをしてくれたら、置いていかれても前向きに授業や課題に取り組めると思う。

9. 更に続けていった方が良くと思われる良かった点を、具体的に記載して下さい。

- 課題を出すこと。量が多いとさすがに困るので、これまでのようにPrint1~2枚が最適だと思う。
- 先生のリアル話。先生の働いている会社のことやその内容を聞くとマネジメント実習を受けて得たと感じた。
- 就職についての話や(環境)就職相談会(3)
- 時間を守ること
- バーチャルウォーターと日本の自給率の低さなどの話
- 外国の例や生活、科学的、物理的な問題などの話
- 授業中の電気の節約
- 実際にワークシートを自分達で作成し模擬監査をすること。模擬監査の方は実践する機会は程遠いと思うので、今回の体験はすごく貴重だった。(2)
- 学校での三号館サイトツアー。今まで見たことのないような学校内の施設を見ることができて良かった。
- 先生の雑談
- 授業中のクイズ (2)
- 時間にルーズな生徒はきっちり怒るという点。最近の大学生は時間にルーズなのでダメなものはダメとはっきり言ったことがよかった。
- 一番初めの授業時に配付された今後の予定表(授業内容と提出物について)
- 監査の書類などを書くときに配付された記載例

10. 理想とする講師像、あるいは専門科目の授業方法とは

〈理想的な講師像〉

- 自己満足な講義をしない先生
- 話上手で分かりやすい講師(3)
- 理想とする先生像はない。先生なりの授業方法をそのまま受け入れる。
- 時には、学生の興味があるものを聞いて、その分野に対しても関心を広め、一緒に考えてくれる講師
- 板書をしてくれる先生
- ためになる雑談をしてくれる先生
- みんなで授業をつくりあげていける講師(2)
- 生徒を甘やかさない厳しい先生が理想だが、ただ怒るのではなく、叱ってくれる先生(2)
- 例を挙げながら説明してくれる先生
- 授業以外の内容にも親身になって相談に乗ってくれる先生

〈理想的な授業方法〉

- 一通り講義を終えた後に、毎回いくつかの問題を出し、その日の講義内容をもう一度復習するやり方。今習った内容なので難しくはないし、すぐに復習することでしっかりと覚えることができる。
- パソコンを使いコピー用紙を使わない授業。そうすることで、コピー用紙の無駄遣いやパソコンの基礎知識の勉強にもなる。
- 前期と後期に分けての授業は時間が少なくあまり覚えていない授業もあるので通年または、4年間を使って授業をする科目などがほしい。
- 専門用語の用語集が必要
- 社会にでてからも役立つ実践的な授業。特にコミュニケーション能力がつくようなもの
- 実践的な授業

11. 学生のコメント

- 講義内容の初印象は「こんな難しいことは無理」だったが、最後まで講義を受けられたことに感動している。
- 自分のやりたかった事を授業の中でも体験できたことは1つ成長したと思う。
- 現実には難しいことかもしれないけれど、そういう一見無理そうなことに見えることから新しい方法が見つかるかもしれないからと、どんどんアイデアを出していくことは楽しかった。
- 相手を評価するという部分、評価されることはあっても自分が誰かを評価するということは今まででなかったことなので一番難しかった。
- 授業はもちろんその他にも私たちの悪いところなどを言ってくれて感謝している。
- ブレインストーミングという考え方が面白かった。これはこの授業だけではなく何かを企画する時に実行できるのでやっていきたいと思う。物事を考えるとこれはこういう事があるからとすぐ諦めてしまうことが多いのでまずはアイデアを出してみることが大切だという事がわかった。
- この授業を通して社会の中の環境の仕事が具体的にみる事ができた。
- 環境就職相談会はとてもよかった。他の企業説明会では話を聞くだけの形が多いのに対し、自分からどんどん相手に質問できたこともあり、就職したい業種を自分でつかむ事ができた。
- 外部からいらっしゃった先生の教え方は他の先生たちとは少し違って新鮮だった。
- 先生の授業はとてもわかりやすかった。
- 自分にとって考える力がついたようにも思う。
- ためになることが多くて勉強になった。
- 作業や中身の濃い監査を体験できたことによって環境の仕事に携わる先生がわかった。
- 監査の仕方や難しさ、大変さを知ることが出来た。
- 今まで、授業に関するアンケートや感想を書き、それを今後の参考にして考えるのはいいことだが、生徒の意見にあわすより、先生は先生なりの授業のやり方、教え方をやった方がいい。